

2016.6.28

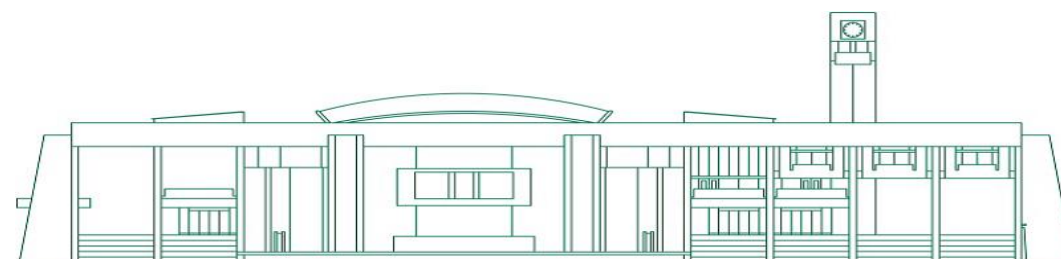
人文学研究科の設置について

(人文系再編)

名古屋大学は、平成29年4月に、文学研究科、国際言語文化研究科、国際開発研究科国際コミュニケーション専攻を統合して、人文学研究科を設置します。

人文学研究科の設置が文部科学省に認められました。

平成28年6月28日



概要

横断的連携を通じた総合人文学の実現により、
人文学の新生を目指します。

幅広い学びを可能にする学位プログラムを導入し、高い異文化理解力と健全な価値観、判断力、モラルを持った人材の養成によって、社会の期待に応えます。

学部から大学院まで、高い教養を育てる教育を通じて、全学の学生の人間的な成長を支えます。

入試

本年9月の旧組織（文学研究科、国際言語文化研究科、国際開発研究科国際コミュニケーション専攻）の入試は行いません。新研究科の認可が得られ次第、人文学研究科の入学試験を行います。

養成する人材像

博士課程
前期課程

- 1) 高い異文化理解力と健全な価値観、判断力、モラルを備え、民間企業を含む幅広い職場あるいは国際的な舞台で、現代社会の諸問題に対応し、目先の利害や損得に左右されることなく、的確な意思決定を行える人材
- 2) 中高の教員や美術館、博物館の学芸員、教育委員会や地方自治体の専門職員など、身につけた専門知識を生かして、中等教育や生涯教育、文化財行政、あるいは多文化共生社会の実現に貢献できる高度専門職業人

博士課程
後期課程

高い異文化理解力と健全な価値観、判断力、モラルを備え、大学等の高等教育機関で、人文学的見地から現代社会が抱える諸問題への対応について調査、研究、考察し、その成果を学生や社会に対して還元できる研究者や高度専門職業人

学生定員

旧

研究科

	前期課程	後期課程
文学研究科	60	30
国際言語文化研究科	48	24
国際開発研究科 国際コミュニケーション専攻	20	10
計	128	64

学部

	1年次	3年次編入
文学部	125	10

新

	前期課程	後期課程
人文学研究科	104	61

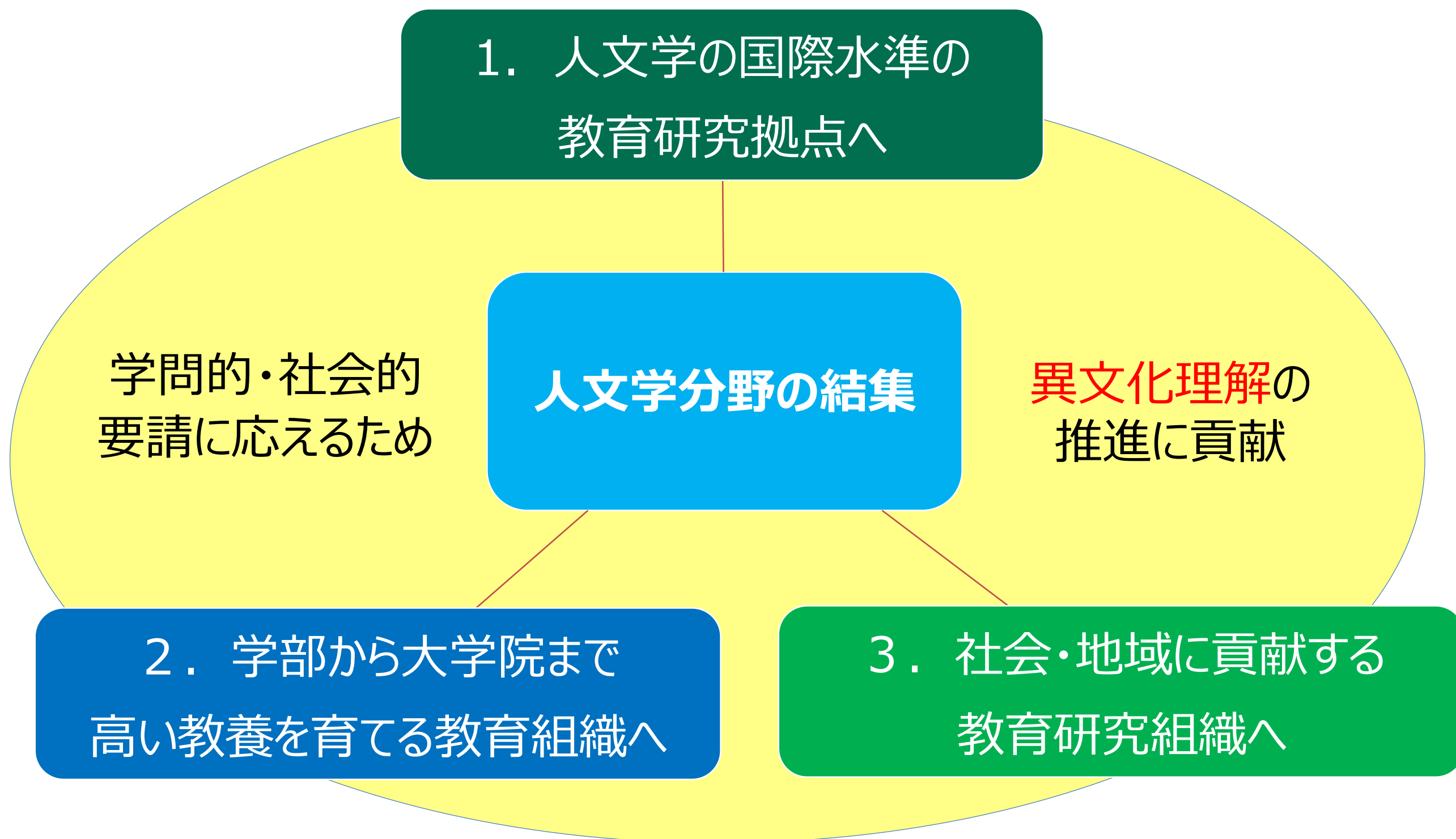
	1年次	3年次編入
文学部	125	10

組織図

	旧	
研究科	文学研究科	人文学専攻
	国際言語文化研究科	日本語文化専攻
		国際多元文化専攻
	国際開発研究科	国際コミュニケーション専攻
		国際開発専攻
国際協力専攻		
学部	文学部	人文学科

	新	
研究科	人文学研究科	
	人文学専攻	
	国際開発研究科	国際開発専攻
		国際協力専攻
学部	文学部	人文学科

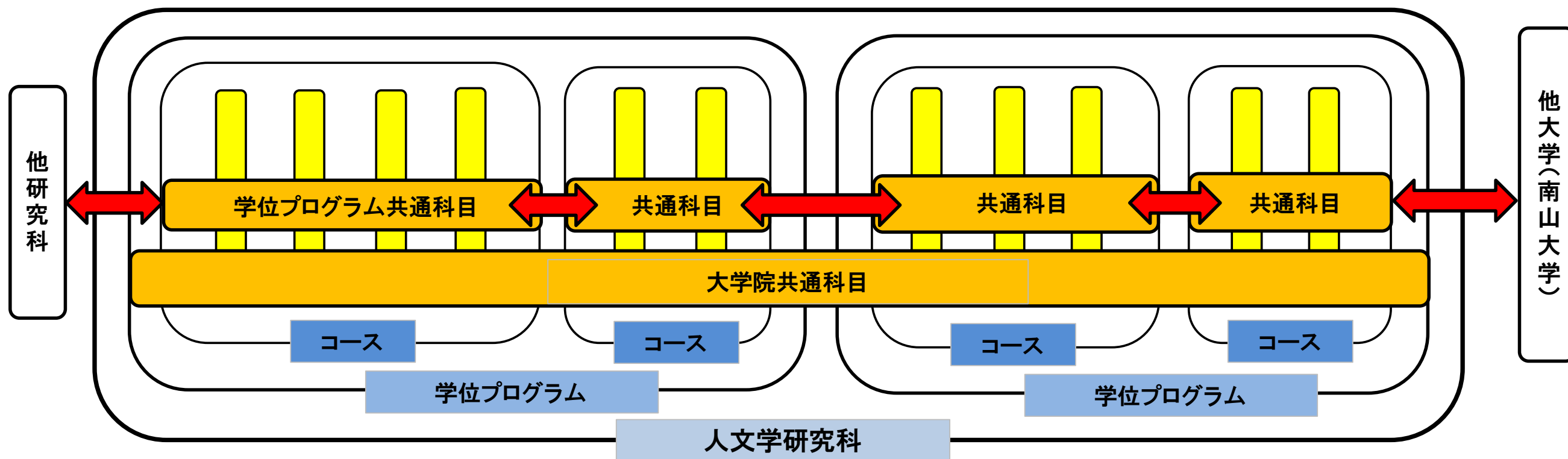
再編の趣旨



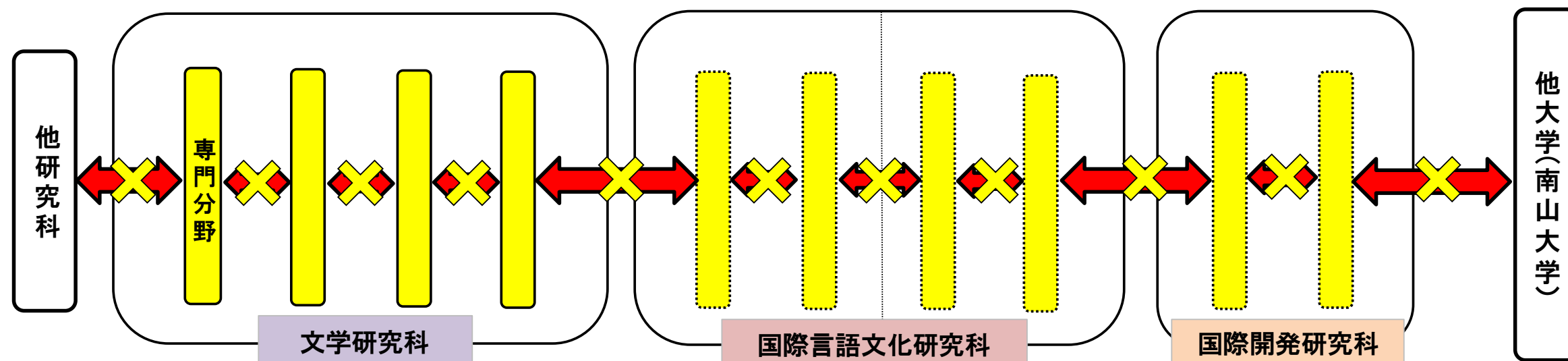
教育の特色① 横断型カリキュラム

専門分野間、研究科間、大学間の連携によって実現を図る。

再編後 横断型カリキュラムの実現



再編前 縦割りの弊害



教育の特色② 教育を通じた社会への貢献

社会人大学院教育学位プログラム

中高の英語教員の**リカレント**教育。

国際的視野に立って地域に貢献できる英語教員や、**異文化に精通**し、英語に堪能であり、かつ高度で専門的な知識と能力を備えた職業人を育成。

多文化共生系学位プログラム

国際的視野と異文化理解能力を持ち、グローバル化に伴う国際社会や地域の課題を解決できる、地域および国際社会で**多文化共生を推進**するリーダーを育成。

いずれの学位プログラムも、再編によって、人文学の諸分野が結集したことで実現可能に。実習やインターンシップを導入して即戦力の人材を育てる。

研究の特色① テクスト学の世界的研究拠点

テキストとは

文字で書かれた文献資料（**文字テキスト**）と、図像や遺跡遺物、宗教儀礼、身体所作など、文字によらない史資料（**非文字テキスト**）からなる。

新領域としての**テキスト学**

文字テキストの緻密な読みを通して、
文献学・解釈学的伝統の一新を
目指す**テキスト解釈学**

文字テキストとの共通の理論的な
枠組みで、**非文字テキスト**を
読み解くことを目指す**文化資源学**

フランス国立近代テキスト
草稿研究所、台湾交通大学、
セント・アンドリュース大学を結ぶ
テキスト解釈学の
広域研究拠点の形成

人文学アーカイブズ・
リサーチネットワークの形成など
人類文化遺産の継承への貢献と
文化資源学の
研究拠点の形成

国際言語文化研究科
国際コミュニケーション専攻

人類文化遺産テキスト学
研究センター

文学研究科

成果の継承

21世紀COE
統合テキスト科学の構築

グローバルCOE
テキスト布置の解釈学的
研究と教育

研究の特色② 言語学分野の結集

世界水準の教育・研究拠点の形成

- 言語の**理論・応用研究**双方の世界水準の研究者を糾合し言語系研究者による**共創的先端教育組織**を実現
- 複数教員による**共同指導体制の充実**と個々の教員の**指導責任の明確化**で初めて実現するきめ細かな教育プログラム

国内外でニーズの高い言語学・応用言語学分野の人材育成

理論・記述研究に裏付けられた**日本語教育学・英語教育学プログラム**

➡ 専門知識に裏付けられ、グローバル化に貢献できる研究者・教育者・実務家の育成

➡ 日本語・日本文化の国際的普及に貢献できる人材の育成

研究の特色③ アジアとの研究交流拠点

タイ・インドネシア・フィリピンなど
東南アジアの研究機関との連携強化へ

宗教テキストの研究など

「アジアの中の
日本文化」
研究センター

人文学研究科

人類文化遺産
テキスト学
研究センター

東アジア地域における、研究推進・研究交流・次世代研究者養成の拠点

次世代研究者養成

- 若手研究者によるシンポジウムの企画・開催
- 大学院生交流集会
- 大学院生への発表支援

研究交流・推進

- 国際シンポジウムの開催
- 研究セミナー・講演会・フォーラム等の定期的な開催

研究成果の発信

- 機関誌の継続的な発行
- アーカイブス創成
- 資料のデジタル化事業

2部局1専攻に分散していた東アジア関係学分野の結集

文学研究科

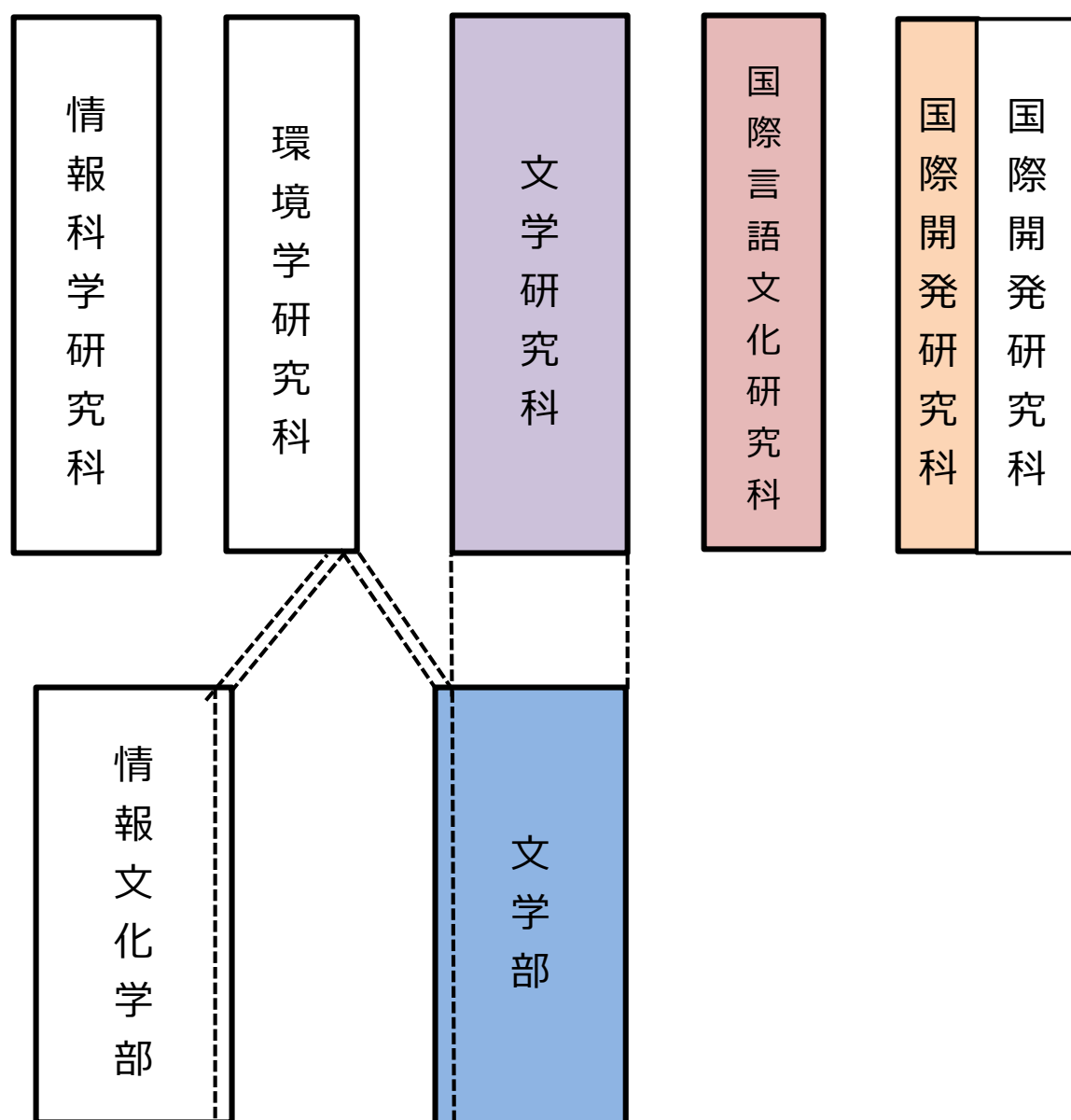
国際言語文化
研究科

国際開発研究科
国際コミュニケーション専攻

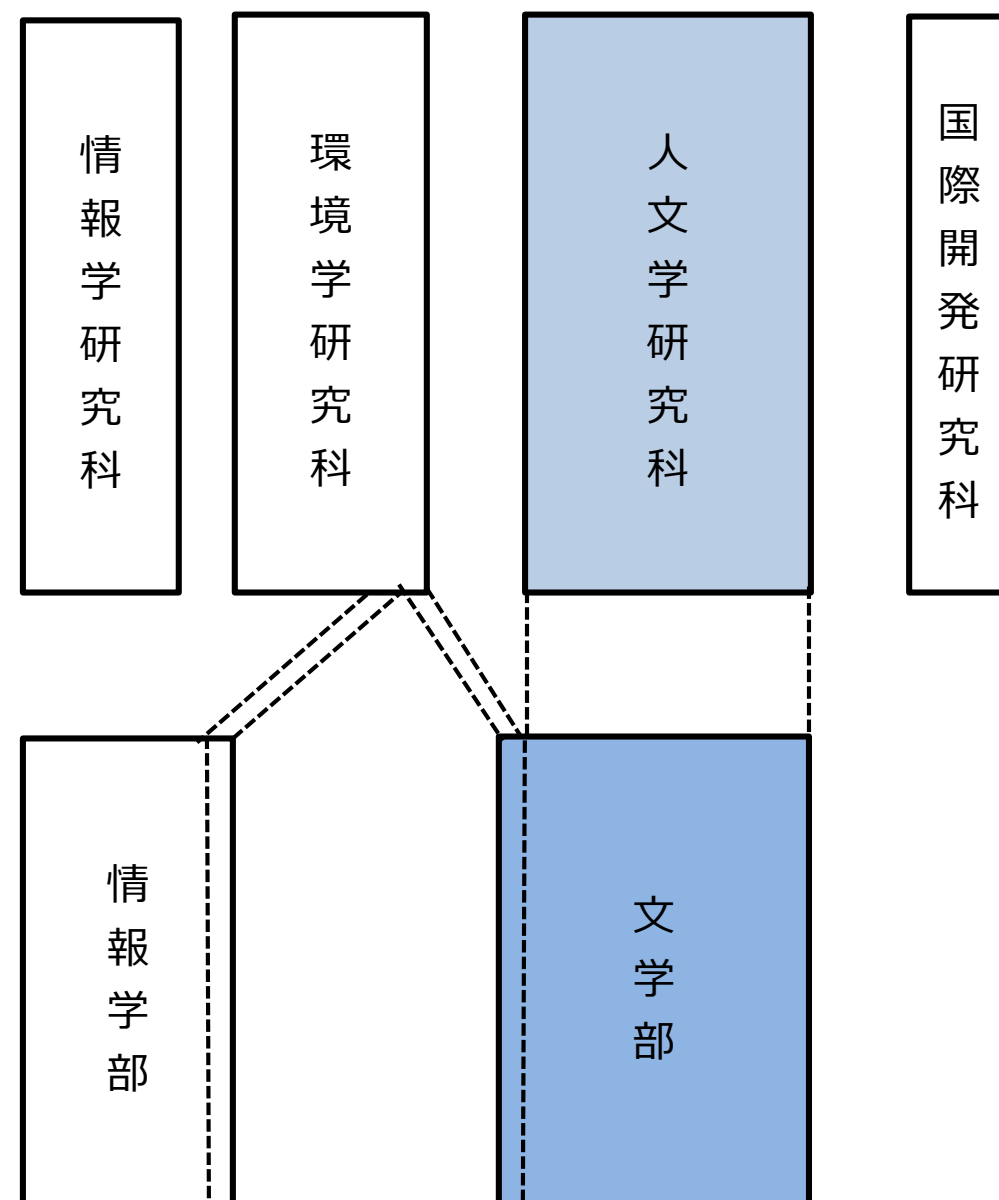
学部と大学院の接続

独立研究科を廃止して、二階建てにする。

再編前



再編後



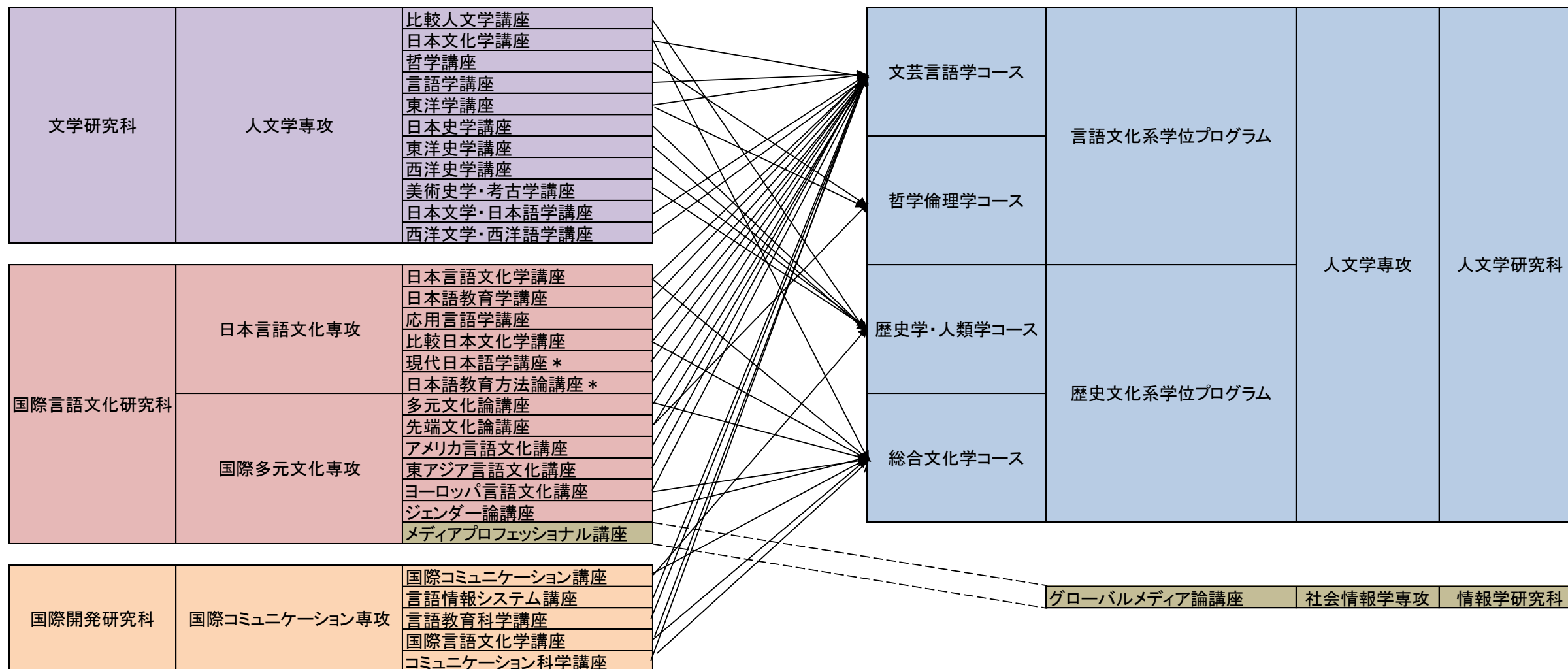
文学部・人文学研究科全体図

講座制は廃止し、教員の定員はコース単位で管理する。

研究科

旧

新



*は協力講座

学部

